

# 台中市:霧峰林家(宮保第園区)

テーマ:文化



台中市霧峰区にある霧峰林家(宮保第園区)は、清代から台湾中部で大きな影響力を持った名門・林家の邸宅群。19世紀に築かれた中国伝統様式の建築が広大な敷地に残り、台湾最大級の伝統住宅建築群として知られている。

精巧な木彫りや中庭を備えた建物は当時の富裕層の生活文化を今に伝え、林家は清代末期から台湾の政治・社会にも影響を与えた一族として歴史に名を残す。精巧な装飾や彫刻が残る歴史的建築として、台湾近代史や地方名家の文化、伝統建築の美しさを学べる貴重な文化遺産となっている。国定古蹟に指定。

## 企画視点

主要都市からのアクセス

周辺の地図

<https://maps.app.goo.gl/cUeyCidd51cFieMN8>

主要都市:台中市

台鉄/高鉄 台中駅から車でおよそ40分

旅行会社の企画視点



台中市内からアクセスしやすく、台湾最大級の伝統住宅建築群として歴史文化を学べるスポット。宮原眼科や彩虹眷村など台中市内観光と組み合わせ、台湾の伝統建築と地方名家の歴史を体感する文化系ツアーとして企画しやすい。

近隣の観光スポット

- ・台湾現代ミュージックベル博物館 (台湾現代音楽鈴博物館)
- ・921 地震教育園区
- ・霧峰キノコ産学館(霧峰菇類産学館)  
世界でも珍しいキノコをテーマにした博物館 (オランダと台湾の2か所のみ)

地域資源の視点



霧峰林家(宮保第園区)は、清代から続く名門林家の邸宅群が残る台湾最大級の伝統建築文化資源。精巧な木彫りや中庭を備えた建築は台湾の伝統建築技術と地方名家の歴史を伝え、地域文化と近代史を理解する貴重な文化遺産となっている。

関連情報リンク先

台湾観光庁 參山国家風景区管理处

<https://www.trimt-nsa.gov.tw/zh-tw/attraction/845/>

問い合わせ先 / 画像提供:台湾観光庁